

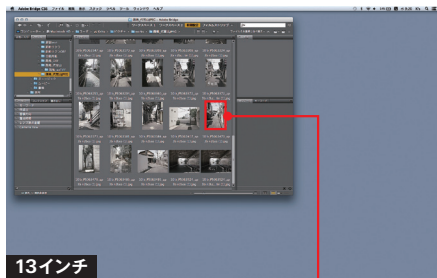
画面端まで輝度と色が安定しているすごさ

CX240の24インチ画面の広さは、快適に画像調整の作業ができるサイズである。今回はその広さだけではなく、広視野角と滑らかな階調特性を生かしたPhotoshopのウィンドウレイアウトも紹介しながらその魅力に迫っていきいたいと思う。

下のAdobe Bridgeでの13インチ画面との比較を見てもらえばわかるように、画像を検討する際にもある程度大きなサイズで数も見ることができる。画面が大きくなればプレビューウィンドウやウィンドウのワークスペースを変える必要性も少なくなる。Photoshopを使った画像調整でも、ある程度大きなサイズで画像全体を表示して、それを比較しながら調整を追い込んでいける利点がある。

たしかに、CX240は価格も8万円とそこそこするし、24インチより大きな画面でパソコン一体型モデルも売っている。でも画像調整を考えると筆者の基準はやはり「ColorEdge」なのだ。それは、広視野角で画面全体の輝度や色度が統一されており、滑らかな階調表現のための調整が行われていることが大きな理由だ。階調の調整も1台ごとに行われているのも安心できる点だ。パネル表面の反射を抑えたノングレアもコントラストを強めた光沢液晶と比べるとおとなしく、色の鮮やかさやシャープネスといったポイントでは、弱さを感じるかもしれない。これらもすべて、写真らしい階調の再現性、さらにその階調の細かな調整のことが考えられているのだ。

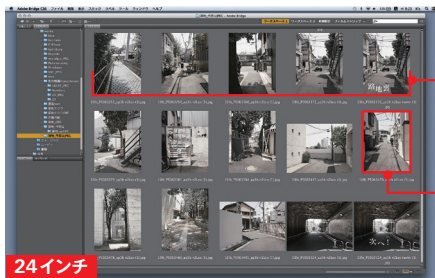
24インチは広くて見やすい



13インチ

2.5×3.3cm

13インチのノートPC画面で開いたAdobe Bridgeを24インチ画面にデフォルトのまま移動したのが左の画像。24インチの大きさを合わせたときには、画像選択画面がさらに広くなるようにレイアウトも変更している



24インチ

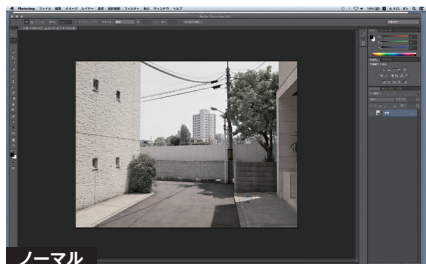
横5つに並べると確認しやすい

筆者は基本的に横に5列並べる表示を使っている。これは、単純に数が数えやすいためだ。自分が何枚選んでいるかも5の倍数で判断したほうが早い

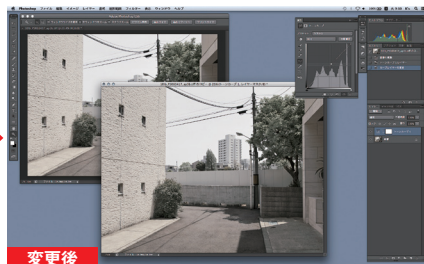
5.5×7.9cmで見やすい

サムネールの表示サイズは、13インチと比較するとほぼ倍の大きさになる。サイズが大きくなれば、違いを検討するときもわかりやすいので作業効率上がる

24インチ用のPhotoshop画面設定



ノーマル



変更後

広視野角24インチ画面を使った画像調整のポイントは作業効率のアップだ。Photoshop (CS6) のウィンドウも効率アップのために変更する。デフォルトの状態では各パレットはつながっているが、それをばらして使いやすいように配置換えをしている

画像の確認はCX240だけで行おう



ノートPCにサムネイル表示



CX240にサムネイル表示

ノートPCとのデュアルモニター環境では、画像のセレクトと画像調整のモニターをわけたほうが効率的なように感じるが、モニター間の色味が違うのであれば避けたい。ノートPCのモニターはメールやWebのチェック用にしたい

LONG RUN REPORT

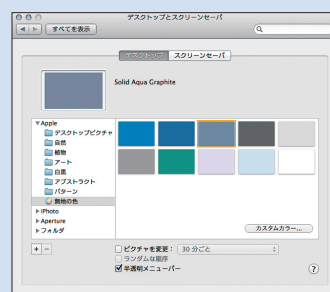
EIZO ColorEdge CX240

×佐々木啓太

vol. 2 24インチの広さを上手に使う方法

今回は画像を確認するための環境を整えた。今回は実際に画像を確認するときのポイントや工夫点を紹介しよう。

デスクトップの背景はグレー系(単色)にしよう



色みが強いと影響されるので単色がおすすめ



Galaxyは派手すぎて画像調整の集中力が落ちる
筆者が使っているMac (OS 10.8) のデフォルト背景はGalaxyだ。見た目にはかっこいいが、派手すぎて画像調整のベースには不向きである。写真をデスクトップに貼付けている場合も、画像調整のベースにはシンプルな単色グレーが合っている。これは、人間の目は意外と賢いが、背景に強い色があるとその色の影響を受けやすいからだ



佐々木啓太 (ささきけいた) : 1969年兵庫県生まれ。日本写真芸術専門学校卒業後、貸スタジオ勤務、写真家のアシスタント生活を経て独立。「写真はモノクロに限る」が口癖で、写真学校卒業以来の暗室オタクも、デジタルでカラーにシフト。フィルムでも、デジタルでも、写真で楽しく遊べる世界を目指す。「街角写真家」として活動中。http://www.facebook.com/KeitaPage2